

## 「第4期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画」平成28年度実績

## 1. 障害者基本計画部分

項 目	実 績	評価及び取組の方向性
啓発広報 ・ 差別解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アオーレ長岡にてすこやか・ともしびまつりを開催。25周年記念イベント等を実施し、前年より500人増の17,000人が来場。</li> <li>・精神保健福祉講座（こころのバリアをなくそうよ講座・講演会）を継続的に実施し、参加者が増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すこやか・ともしびまつりは25周年記念イベント等が盛況であり、福祉関係者以外の来場が増加した。今後も継続して、福祉への関心が持てるイベント等を開催する。</li> </ul>
療育・教育 の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅介護・短期入所・日中一時支援事業の利用実績が増加。</li> <li>・障害児通所支援・障害児相談支援給付費等対象者の利用実績が増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○対象者のニーズに対し、現状では対応できているが、今後もニーズを踏まえたサービス提供体制の整備を推進する。</li> </ul>
雇用促進 ・ 就労支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡市役所福祉課内にて、延べ24人に対して275人日の職場体験実習を受入れ。</li> <li>・実習先企業29事業所にジョブサポーターを派遣。当該企業等での実習者は延べ27人と前年よりも増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職場体験実習については、事務作業体験によるステップアップの場を提供できた。事業開始から一定年数が経過するため、施設側のニーズ等を確認しながら、継続実施する。</li> <li>○企業実習は、利用ニーズが高いため、今後も継続実施する。</li> </ul>
地域生活 のための 体制充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉送迎サービスの利用者、年間利用回数ともに増加。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 利用者 H27 3,500人 ⇒ H28 3,770人</li> <li>- 年間利用回数 H27 3,427人 ⇒ H28 3,707人</li> <li>- 実施地区 H27 23地区 ⇒ H28 24地区</li> </ul> </li> <li>・手話奉仕員等595人を派遣。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- H27 580人 ⇒ H28 595人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動休止地区等を対象に協力依頼を行い、サービス実施へと繋がった。今後も継続実施する。</li> <li>○関係者による意見交換を実施し、聴覚障害者のニーズに沿った意思疎通支援体制を検討した。今後も継続実施する。</li> </ul>

## 2.障害福祉計画部分

項 目	実 績	評価及び取組の方向性
<p>地域生活の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者の高齢化（重度化）などにより、サービス利用者が増加。               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 居宅介護 H27 198人 ⇒ H28 219人</li> <li>- 生活介護 H27 559人 ⇒ H28 569人</li> </ul> </li> <li>・ 地域移行を促進するため、受け皿であるグループホームが増加。               <ul style="list-style-type: none"> <li>- グループホーム数 H27 58か所 ⇒ H28 61か所</li> <li>- グループホーム利用者 H27 272人 ⇒ H28 275人</li> </ul> </li> <li>・ 多様化する相談ニーズに対応するため、相談支援体制の強化や人材育成を促進。               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 障害者基幹相談支援センターの開設</li> <li>- 委託相談支援センターを1ヶ所増設</li> </ul> </li> <li>・ 地域で安心して生活するために、夜間や休日の緊急対応や相談などを行う「地域移行のための安心生活支援事業」を継続実施。               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 24時間コールセンター 市内2ヶ所</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニーズを踏まえた各種サービス提供体制が整備できている。継続実施を行う。</li> <li>○ グループホームは増加しているが、計画値300人に対して275人に留まっており、今後も整備を推進する。</li> <li>○ 相談支援体制全体の見直しや、相談支援専門員の人材育成ビジョンの検討を行う。</li> <li>○ 地域生活の総合的支援が今後も必要であり、地域バランスを考慮した拠点等の整備を検討する。</li> </ul>
<p>福祉施設からの一般就労の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉施設から一般就労への移行実績は、横ばいである。               <ul style="list-style-type: none"> <li>- H27年度 27人 ⇒ H28年度 27人</li> </ul> </li> <li>・ 就労移行支援、就労継続支援B型の利用者が増加。               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 就労移行支援 H27 90人 ⇒ H28 92人</li> <li>- 就労継続支援B型 H27 584人 ⇒ H28 608人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一般就労への移行は横ばいである。一般就労の促進のため、福祉サービスのあり方を検討するとともに、関係機関との連携強化を推進する。</li> </ul>